

あさぎなみ

高島市立本庄小学校 学校だより⑭

令和 8 年3月24日号

文責 西村



8 名が卒業しました。



3月19日6年生の8名が卒業しました。卒業式は、最後の授業です。立派にその姿を下級生たちの心に残してくれました。

この一年間は、下級生にやさしく接し、リーダーとしてその方向性をしっかりと示してくれました。

式辞で、述べたことを以下にまとめて書きます。

八名の卒業生は、時にぶつかりながらも、相手を理解しようとする気持ちややさしさを育んできました。

四年生から取り組んだJRC活動では、「学校を自分たちでつくる」という意識が育ち、一年生への温かい関わりや、話し合い活動でのリーダーシップ、予告なしの避難訓練での的確な行動など、最高学年として頼もしい姿を見せてくれました。

校訓「たくましい子 本庄の心」には、困難に向かう力、感謝する心、人とつながる力が込められています。地域に支えられ、多くの人と関わってきた経験の中で、子どもたちはその心をしっかりと育んできました。

歴史と伝統ある本庄小学校の卒業生としての誇りを胸に、次のステージへ大きく羽ばたいていくことを願っています。

6 年生を送る会

～これまでの感謝を込めて～

それぞれの学年が、6年生の卒業をお祝いするために趣向をこらし、心のこもった出し物を披露しました。

1年生は思い出を替え歌にのせて、2年生は6年生へのプレゼントを取り返す劇を、3年生は替え歌と合奏を発表しました。4年生はカッコいいダンスを、5年生は、「サイズ感」を試すクイズで会場を盛り上げました。また、5年生は出し物だけでなく、準備や司会、全校で楽しむゲームの進行も担当し、送る会を力強く支えてくれました。

今まで学校のリーダーとして頑張ってくれた6年生に、在校生が一生涯懸命に感謝の気持ちを伝える、温かな時間となりました。



卒業製作

～『防護ネット』作り～

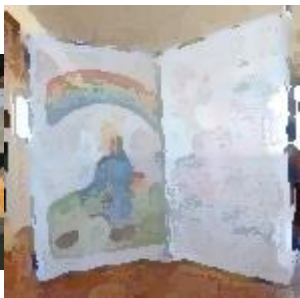
学校に残す卒業製作として、6年生は除草作業の際に石の跳ね返りを防ぐ『防護ネット』を作ってくれました。

PTA 環境整備作業の際、地域の建設会社の方が貸して下さった手作りの防護ネットがとても使いやすかったことから、その作り方を6年生に教えに来ていただきました。

材料となるパイプなども切っていただき、子どもたちは協力しながら短時間で仕上げることができました。

完成した防護ネットには、6年生がデザインした絵も描かれており、心のこもった卒業製作となりました。

この防護ネットは、これからの学校生活で大切に使用させていただきます。



卒業ボランティア ～校舎を美しく～

卒業を前に、6年生がこれまで使ってきた特別教室などの教室や校舎を、感謝の気持ちを込めて丁寧に清掃してくれました。

これからも、この美しさを大切に守りながら使っていきたいと思います。



同窓会の入会式 ～140年間のバトン～

今年、創立140周年という節目の年に、8名の6年生が新たに同窓会へ入会しました。

会長からは、「目標に向かってコツコツ努力することが大切である。挫折することもあるだろうけれど、一人で抱え込まず、周りの人に話し、相談していけばよい」という温かい励ましの言葉をいただきました。



その後、記念品と入会証を受け取り、同窓生としての新たな一歩を踏み出しました。

立志祭～志を持って～

3月6日に立志祭を行いました。安曇川町出身の中江藤樹は、ちょうど今の3年生と同じ年頃に両親のもとを離れ、志を立てて米子へ旅立ったといわれています。このことから、高島市内の小学校3年生は、それぞれの町内や校内で将来の目標を立てて表明したり、藤樹について学んだりする「立志祭」を行っています。

そのお膝元である安曇川町では、第1部として藤樹ロードの散策、第2部として安曇川公民館で3小学校の交流を行っています。第1部の散策では、新しくなった「中江藤樹・たかしまミュージアム」や、藤樹のお墓がある「玉林寺」、志を奉納した「藤樹書院」を訪れ、藤樹の生き方や考え方、村の人々とのかかわりについてお話を聞きました。

第2部では、安曇川公民館で各学校の代表児童が志を発表したり、他校の子どもたちと藤樹かるたを楽しんだりしました。

『藤樹先生から学んだこと』

これからも家族のことを大切にしたいと思いました。とうじゅ先生のようにべん強にはげむとゆめをかなえるかのうせいが広がると知ったので、これからは、もっとべん強にはげんでゆめをかなえたいと思いました。

『藤樹先生から学んだこと』

とうじゅ先生から学んだことは、とうじゅせんせいは勉強をあきらめずにしてきたことがすごいと思いました。わたしも、しょう来のゆめをあきらめずにがんばりたいです。とうじゅ先生は「家族を大事にしなさい」と言っていたから私も同じように家族を大切にしたいです。

1年間、本当にありがとうございました。

4月、進級した子どもたちに「幸せな学校をつながりて作ろう」と話した日から、もう1年が経とうとしています。

この1年間、それぞれの子どもたちが学習や活動に真剣に取り組み、大きく成長したことを感じます。

6年生は、よい学校をつくろうとさまざまな場面でリーダーシップを発揮し、下学年に優しく接する姿が印象的でした。登校時のあいさつの声はとても大きく、朝からすがすがしい気持ちにさせてくれました。

5年生は、そんな6年生の姿を見習い、次年度のリーダーとしての姿がすでに想像できるほど、人前でしっかり話したり、よいアイデアを出したりしています。

4年生の教室では、相手を尊重しながら助け合う姿が見られます。相手の気持ちを想像し、思いやりをもって関わろうとする姿が育ってきました。

3年生は、下学年のリーダーとして活躍し、手話の時間には下学年の椅子を進んで運ぶ姿が見られました。

2年生は、自分の意見をしっかりと伝えながらも、折り合いをつけて話し合う姿が見られるようになりました。

1年前はドキドキしながら廊下を歩いていた1年生も、次年度入学する園児を迎えたときには、すっかりお兄さん・お姉さんの顔になり、優しく接していました。

小さな集団の中で、ときにはけんかをしながらも、さまざまなことを学び、相手を理解しようとする気持ちを育ててきた1年でした。

保護者の皆様、地域の皆様のお力添えがあったからこそ、子どもたちは成長することができました。子どもたちを温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。